

平成 29 年度

# 事業報告書

自：平成 29 年 4 月 1 日

至：平成 30 年 3 月 31 日

公益財団法人 日本食品化学研究振興財団

## 目 次

I	事業概要	1
II	事業の実施状況	1
1	助成事業	1
(1)	研究助成事業	1
(2)	シンポジウム開催等助成事業	1
(3)	奨学助成事業	2
2	情報収集、提供	2
(1)	ホームページによる情報提供	2
(2)	研究成果報告書の発刊	2
3	調査研究事業	3
(1)	民間からの受託事業	3
III	管理運営業務	3
1	会議の開催	3
2	平成 29 年度主要業務	3
IV	組 織	3
V	付属証明書	3

### (資料)

別紙 1	平成 29 年度 (第 24 回) 研究助成金交付対象者	4
別紙 2	平成 30 年度 (第 25 回) 研究助成金交付対象者	7
別紙 3	平成 29 年度シンポジウム開催等助成金交付対象者	9
別紙 4	平成 30 年度シンポジウム開催等助成金交付対象者	10
別紙 5	公益財団法人日本食品化学研究振興財団ホームページ コンテンツ	11
別紙 6	平成 29 年度主要事業記録	12
別紙 7	組織	13

# 平成 29 年度 事業報告書

## I 事業概要

平成 29 年度の助成事業については、平成 28 年度に引き続き公益目的事業である食品化学に関する研究・シンポジウム開催等に対する助成事業を進めるとともに、東南アジアから日本への留学及び日本の研究者の海外への留学に係る奨学助成事業を実施した。

情報提供事業については、食品添加物その他食品化学に関する情報の収集とホームページ上での情報提供を平成 28 年度に引き続き実施した。

調査研究事業については、民間からの受託事業として、EU の企業より日本に新たに申請する添加物の安全性調査事業を受託した。

## II 事業の実施状況

### 1 助成事業

#### (1) 研究助成事業

##### 1) 平成 29 年度研究助成

平成 29 年 3 月に開催された選考委員会において選考し、同月開催の理事会にて決定した助成金交付対象者 28 件に対して、同年 5 月、研究助成金（総額 2,200 万円）を交付した。

（交付対象者及び助成額は「別紙 1」のとおり）

##### 2) 平成 30 年度研究助成選考

###### ① 募集公告

平成 29 年 9 月、本財団の助成対象の研究分野に関連のある専門誌（日本食品化学学会誌等 8 誌）及び関係学会（日本食品化学学会等 10 学会）のホームページに同募集公告の掲載を依頼すると共に、29 年 10 月本財団ホームページにおいて募集公告を掲載し、助成対象者の公募を行った。

###### ② 研究課題

平成 28 年度に引き続き、一般研究と課題研究（予め本財団が研究分野を定め、その分野内で申請者が課題を定めて行う研究）とに分けて助成申請の募集を行った。

###### ③ 申請受付

平成 29 年 11 月 15 日～平成 30 年 1 月 15 日の 2 か月間、助成申請を募集し、70 件（一般研究 39 件、課題研究 31 件）の申請を受理した。

###### ④ 選考委員会審査

平成 30 年 3 月 2 日開催の第 17 回選考委員会において審査を行い、一般研究 17 件、課題研究 12 件の助成対象候補を決定した。

###### ⑤ 理事会決定

平成 30 年 3 月 9 日開催の第 31 回定時理事会において、選考委員会の選考結果に基づき審議を行い、29 件（総額 2,200 万円）の研究助成金交付を決定した。

（交付対象者及び助成額は「別紙 2」のとおり）

#### (2) シンポジウム開催等助成事業

##### 1) 平成 29 年度前期（平成 29 年 4 月～9 月）

平成 29 年度研究助成と並行して、前期シンポジウム助成の公募、選考、助成決定を行い、平成 29 年 4 月、1 件に助成金（総額 80 万円）を交付した。

(交付対象者及び助成額は「別紙3」のとおり)

2) 平成29年度後期(平成29年10月～平成30年3月)

平成29年度後期におけるシンポジウム開催等の助成対象者を募集するため、専門学会誌及び関係団体ホームページ並びに本財団ホームページに募集公告を掲載した。

平成29年7月1日～31日の1か月間募集を行い、平成29年8月31日開催の第15回選考委員会で選考を行い、9月21日開催の第29回臨時理事会で助成対象者を決定し、同年10月、1件に助成金(総額40万円)を交付した。

(交付対象者及び助成額は「別紙3」のとおり)

3) 平成30年度前期(平成30年4月～9月)

平成30年度研究助成と並行して、平成30年度前期シンポジウム助成の募集公告、募集、助成対象の選考、助成決定を行い、6件(150万円)の助成を決定した。

(交付対象者及び助成額は「別紙4」のとおり)

(3) 奨学助成事業

1) 平成29年度

平成29年度は、平成26年度に決定した方針により、平成28年度の交付開始から2年目となる。

平成29年度は、平成28年度において助成決定された海外からの日本への留学生1名及び日本から海外への留学者1名、計2名について助成(総額170万円)を行った。

2) 平成30年度

平成29年9月15日～10月31日の1か月半の間、本財団ホームページに募集公告を掲載するとともに、関係団体ホームページに募集公告掲載を依頼することにより公募を行った。

その結果、海外からの日本への留学生1名及び日本から海外への留学者3名の申請があった。

これらの申請者に対して、11月20日、選考委員1名及び事務局スタッフによる面接を行い、12月13日に開催された第16回選考委員会で審査のうえ、助成候補者を決定した。

選考委員会が選考した助成対象候補者について、12月26日開催の第30回臨時理事会で審議を行い、申請者3名に対する助成(総額210万円)を決定した。

2 情報提供事業

(1) ホームページによる情報提供 (<http://www.ffcr.or.jp/>)

平成10年4月にホームページを開設し、食品添加物その他食品化学に関する内外の情報を収集・整理し提供しており、平成28年度においても逐次最新の情報に更新し、内容の充実を図った。掲載情報の内容については、「別紙5」のとおりである。

※ホームページ更新のための実施設計

ホームページの閲覧性の向上等を目的として財団のホームページの全面的な改修を28、29年度の2年計画で行うこととし、平成29年度においては、平成28年度に策定した基本設計に基き実施設計を行い平成29年度末(平成30年3月)に新ホームページに移行した。

(2) 研究成果報告書の発刊

平成28年度の研究助成者から提出された研究報告書を取りまとめた「公益財団法人日本食品化学研究振興財団 第23回研究成果報告書」を、平成29年12月15日刊行し、当該研究者を

じめ、厚生労働省及び附属研究所、国立国会図書館、各都道府県衛生研究所、関係団体等へ配付した。

### 3 調査研究事業

#### (1) 民間からの受託事業

EUの民間企業より委託を受け、新規食品添加物について、安全性に関する調査を行い、報告書を取りまとめた。

### III 管理運営業務

- 1 会議の開催 ・理事会 6回 (定時理事会2回、臨時理事会4回)  
・評議員会 2回 (定時評議員会1回、臨時評議員会1回)  
・選考委員会 3回

#### 2 平成29年度主要事業

平成29年度の主要事業については、「別紙6 平成29年度主要事業記録」のとおりである。

### IV 組織

平成29年度末における本財団の組織については、「別紙7」のとおりである。

### V 附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書については、記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。

## 平成29年度（第24回） 研究助成金交付対象者

## 1：一般研究

交付対象者	研 究 課 題	助成額 (万円)
愛媛大学理学部化学科 教授 長岡 伸一	食品における酸化防止剤の能力を評価する方法の開発	60
岐阜薬科大学生命薬学大講座生化学研究室 教授 五十里 彰	食品添加物によるマグネシウム欠乏の予防に関する食品科学的研究	80
大阪府立大学総合リハビリテーション学研究科 教授 神谷 重樹	食品添加物が歯周病原細菌に及ぼす影響の解析	60
国立医薬品食品衛生研究所有機化学部 室長 出水 庸介	化学合成によるカロテノイドの標品供給に関する研究	75
国立医薬品食品衛生研究所 生化学部第二室 室長 中村 公亮	遺伝子組換え食品の検査に及ぼす食品添加物の複合影響に関する基礎的研究	120
中部大学応用生物学部食品栄養科学科 教授 津田 孝範	食品添加物の消化管ホルモンGLP-1 (Glucagon-like peptide-1) の分泌促進作用とその機序解明	80
立命館大学生命科学部生物工学科 教授 若山 守	加工食品中のアクリルアミド生成を効率的に抑制する乳酸菌アスパラギナーゼの開発と食品添加剤としての乳酸菌アスパラギナーゼの有用性を検証する	50
大阪大学総合学術博物館資料基礎研究系 特任助教 高浦 佳代子	安全・高品質な国産サフラン生産拡大のためのアクションリサーチ：アグリセラピーへの応用と地域健康力の向上	60
大阪薬科大学製剤設計学研究室 助教 内山 博雅	酵素処理イソクエルシトリンを用いた高付加価値機能性食品の開発	50
大阪市立大学大学院医学研究科 准教授 魏 民	食品添加物の安全性評価のためのヒ素発がん機序の解明	100
国立医薬品食品衛生研究所生薬部第二室 主任研究官 政田 さやか	機能性関与成分として使用されている食品添加物の実態調査研究	100
国立医薬品食品衛生研究所 食品衛生管理部第二室 室長 大城 直雅	魚類食中毒シガテラの原因物質シガトキシン類分析のための標準試料作製検討	80
国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター病理部 主任研究官 高須 伸二	肝前がん病変の生物学的特徴を考慮したfuran類香料の肝発がん性評価の精緻化	120
国立医薬品食品衛生研究所食品部第二室 室長 堤 智昭	自動前処理装置を用いた食品中のポリ塩化ビフェニル分析法の開発に関する研究	80

一般研究 14件

1115万円

2：課題研究

2-1 食品添加物の体内動態及び生体に対する影響に関する研究

交付対象者	研 究 課 題	助成額 (万円)
山梨大学大学院総合研究部生命環境学域 教授 望月 和樹	末梢白血球に発現する炎症性サイトカインを用いた食品添加物の安全性・有効性の評価系の構築	80
修文大学健康栄養学部管理栄養学科 准教授 丹羽 利夫	クルクミンのヒト腸内細菌代謝産物の化学構造に関する研究	80
千葉大学大学院 薬学研究院病態分析化学研究室 助教 東 恭平	コンドロイチン硫酸存在下で抗炎症作用を発揮する腸内微生物由来代謝産物の探索	60
東京海洋大学学術研究院 食品生産科学部門 准教授 久田 孝	食中毒菌の侵入・感染におよぼすアルギン酸ナトリウムと乳酸菌の影響	80
静岡県立大学 食品栄養科学部食品衛生学研究室 助教 島村 裕子	細菌性スーパー抗原毒素の生体内影響の発現に対するポリフェノール系既存食品添加物の制御とその作用メカニズムの解明	80
名古屋市立大学大学院 薬学研究科生薬学分野 講師 寺坂 和祥	配糖体の消化管吸収過程におけるLPHの特性評価	70
東京農業大学 応用生物科学部食品安全健康学科 助教 煙山 紀子	生活習慣病の分子標的制御に資する甘味料の効果とその背景機構に関する研究	120
東京農工大学大学院 農学研究院動物生命科学部門 教授 渋谷 淳	既存添加物 酵素処理イノケルシトリンの体内動態および生体影響に関する研究	100

2-2 食品添加物を利用した食品及び食品素材の保存・安定性向上に関する研究

交付対象者	研 究 課 題	助成額 (万円)
東京工科大学応用生物学部応用生物学科 教授 遠藤 泰志	油脂の加熱調理における有害物質アクロレインの生成に対する乳化剤の抑制効果	50
福岡県工業技術センター 生物食品研究所食品課 専門研究員 塚谷 忠之	有機酸を中心とした食品添加物の併用効果による食中毒菌由来バイオフィルムの制御	70
麻布大学獣医学部動物応用科学科 講師 竹田 志郎	乳清タンパク質酵素分解物による亜硝酸塩の食肉発色促進作用に関する研究 —発色剤使用量低減を目指した研究	60

2-3 各種精油、果汁、果実等の天然香料の基原動植物及び食品に含まれるフレーバー成分の化学的研究

交付対象者	研 究 課 題	助成額 (万円)
千葉大学環境健康フィールド科学センター 植物化学研究室 講師 加川 夏子	栽培環境により変動するハーブの二次代謝成分量の分析調査	100
農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門食品健康機能研究領域 感覚機能解析ユニット ユニット長 日下部 裕子	唾液分泌および唾液成分変化を利用した甘味に対する香の効果を評価する方法の開発	60

2-5 各国における食品添加物規制の実際と比較に関する調査・研究

交付対象者	研 究 課 題	助成額 (万円)
多摩美術大学 美術学部グラフィックデザイン学科 非常勤講師 日高 杏子	イギリスの伝統的菓子におけるタール色素規制の調査	75

課題研究 14件 1085万円  
合 計 28件 2200万円

## 平成30年度（第25回） 研究助成金交付対象者

## 1:一般研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
武庫川女子大学生活環境学部 教授 義澤 克彦	既存添加物キトサンの抗酸化作用に関する応用研究	55
国立医薬品食品衛生研究所有機化学部 部長 出水 庸介	化学合成による既存添加物の定量用標品および内部標準物質の供給に関する研究	100
大阪市立大学大学院医学研究科 准教授 魏 民	食品添加物の安全性評価のためのヒ素発がん機序の解明	65
国立感染症研究所ウイルス第二部 主任研究官 渡士 幸一	フラボノイド含有食品添加物の肝炎ウイルス感染予防に関する研究	65
国立医薬品食品衛生研究所変異遺伝部 室長 杉山 圭一	新規エピジェネティック変異原検出系を用いた食品添加物の安全性評価	90
千葉大学大学院理学研究院化学研究部門 教授 坂根 郁夫	食品添加物ミスチン酸摂取による2型糖尿病リスク低減	75
国立医薬品食品衛生研究所食品部 部長 穂山 浩	新規誘導体化試薬「Py-Tag」を用いた魚および水産加工品中の不揮発性アミン類分析法の開発	110
東京農業大学応用生物科学部 准教授 岩槻 健	新規サル消化管オルガノイドを用いた食品添加物が消化管上皮に与える影響の解析	85
大阪大学総合学術博物館資料基礎研究系 特任助教 高浦 佳代子	安全・高品質な国産サフラン生産拡大のためのアクションリサーチ:アグリセラピーへの応用と地域健康力の向上	50
立命館大学薬学部臨床分析化学研究室 准教授 井之上 浩一	毒キノコ成分のプロファイリングと化学分析のための標準品作製	60
国立水俣病総合研究センター基礎研究部衛生化学研究室 主任研究員 永野 匡昭	魚食からのメチル水銀曝露を想定した低濃度メチル水銀曝露時の組織中水銀濃度に対するフラクトオリゴ糖および小麦ふすまの影響に関する基礎的研究	60
国立医薬品食品衛生研究所生薬部 主任研究官 政田 さやか	機能性関与成分として使用されている食品添加物の実態調査研究	60
国立医薬品食品衛生研究所生化学部 室長 中村 公亮	遺伝子組換え食品検知に及ぼす食品添加物の複合影響に関する基盤的研究	110
立命館大学生命科学部生物工学科 教授 若山 守	加工食品中のアクリルアミド生成を効率的に抑制する乳酸菌アスパラギナーゼの開発と食品添加剤としての乳酸菌アスパラギナーゼの有用性を検証する	40
奈良女子大学大学院生活環境科学系生活健康学領域 教授 森本 恵子	甘味料(グルコース、スクラロース)の脂肪嗜好性調節作用の検討とその機序の解明	100
国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター-病理部 主任研究官 高須 伸二	肝前がん病変の生物学的特徴を考慮したfuran類香料の肝発がん性評価の精緻化	90
国立医薬品食品衛生研究所食品衛生管理部 室長 大城 直雅	魚類食中毒シガテラの原因物質シガトキシン類分析のための標準試料作製検討	40

## 2: 課題研究

### 2-1 食品添加物の体内動態および生体に対する影響に関する研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
京都大学大学院農学研究科 准教授 井上 善晴	キチンの異常蓄積を作用機序とする食品添加物 ε-ポリ-L-リジンの抗真菌活性発現機構の解明	90
修文大学健康栄養学部管理栄養学科 准教授 丹羽 利夫	ヒト由来クルクミン代謝菌の単離に向けた化学的アプローチ	85
岐阜大学応用生物科学部 教授 矢部 富雄	ペクチンの多糖構造と消化管機能調節機構の相関	85
静岡県立大学食品栄養科学部 助教 島村 裕子	細菌性スーパー抗原毒素の生体内影響の発現に対するポリフェノール系既存食品添加物の制御とその作用メカニズムの解明	85
岡山県立大学保健福祉学部栄養学科 教授 伊東 秀之	抗糖化作用を有するエラジタンニンの生体利用性に関する研究	90
東京農業大学応用生物科学部 助教 煙山 紀子	生活習慣病の分子標的制御に資する甘味料の効果とその背景機構に関する研究	90

### 2-2 食品添加物を利用した食品および食品素材の保存・安定性向上に関する研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
東京農工大学グローバルイノベーション研究院 准教授 村岡 貴博	タンパク質食材の安定性を向上させる新規食品添加物の開発	90

### 2-3 各種精油、果汁、果実等の天然香料の基原動植物および食品に含まれるフレーバー成分の化学的研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
千葉大学大学院薬学研究院 助教 植田 圭祐	アミロースの立体構造制御による香气成分の放出制御及び固体NMR測定を利用した放出制御機構の解明	75
山口大学大学院創成科学研究科 教授 松井 健二	植物由来香料成分相互作用蛋白質の同定とその香料安定化効果の検証	50
大妻女子大学家政学部食物学科 教授 堀江 正一	精油中に含まれるフラノクマリン類の分析と品質評価	60
九州大学大学院理学研究院化学部門 准教授 村山 美乃	熟成古酒からの劣化臭除去に向けた金ナノ粒子の吸着特性の解明	60

### 2-4 高齢者・病者・障害者等のための食品添加物を利用した食品・食品成分補給方法の開発研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
東京大学大学院農学生命科学研究科日清食品寄付講座「味覚サイエンス」 特任教授 朝倉 富子	表面筋電図法を用いた飲み込みやすさの客観的評価方法の確立と嚥下調整食開発への応用	85

課題研究 12件 945万円  
合計 29件 2,200万円

## 平成29年度シンポジウム開催等助成金交付対象者

(前期)

主催者及び申請者	シンポジウム等の名称・テーマ	助成額 (万円)
日本食品化学学会 (三重大学大学院 生物資源学研究所 教授) 奥村 克純	日本食品化学学会 第23回総会・学術大会	80

小 計 80万円

(後期)

主催者及び申請者	シンポジウム等の名称・テーマ	助成額 (万円)
日本食品化学学会 (国立医薬品食品衛生研究所 部長) 小川 久美子	第33回食品化学シンポジウム「食品の表示と安全性の動向」	40

小 計 40万円

合 計 120万円

## 平成30年度シンポジウム開催等助成金交付対象者

(前期)

主催者及び申請者	シンポジウム等の名称・テーマ	助成額 (万円)
大阪医科大学小児科学教室 教授 玉井 浩 講師 瀧谷 公隆	日本ビタミン学会 第70回大会	15
第23回国際植物脂質シンポジウム組織委員会 (埼玉大学 教授) 西田 生郎	第23回国際植物脂質シンポジウム(ISPL2018)	15
日本食品化学学会 (国立医薬品食品衛生研究所 食品添加物部 部長) 佐藤 恭子	日本食品化学学会 第24回総会・学術大会	50
日本栄養・食糧学会 (岡山県立大学 学長 兼 理事長) 辻 英明	第72回日本栄養・食糧学会大会	20
日本食品衛生学会 公開シンポジウム 実行委員長 高野 伊知郎	平成30年度日本食品衛生学会 公開シンポジウム テーマ「食品安全性評価のための細胞培養技術」	20
日本フードファクター学会 日本ポリフェノール学会 日本カテキン学会 (神戸大学大学院農学研究科 教授) 芦田 均	3学会合同学術集会 第23回日本フードファクター学会 第12回日本ポリフェノール学会 第15回日本カテキン学会	30

合 計 150万円

公益財団法人日本食品化学研究振興財団ホームページ [\(http://www.ffcr.or.jp/\)](http://www.ffcr.or.jp/)  
コンテンツ

(1) 食品添加物関係情報

①食品添加物リスト

指定添加物リスト、既存添加物リスト、天然香料基原物質リスト（和、英）  
安全性審査の手続きを経た遺伝子組換え添加物一覧  
食品添加物使用基準リスト（和、英）  
第8版 食品添加物公定書（英文） 等

②新食品添加物の指定

食品添加物の指定及び使用基準改正に関する指針（和、英）  
食品添加物指定等要請資料作成の手引き（和、英）  
食品安全委員会 新食品添加物安全性評価、資料等  
食品添加物指定・削除一覧 等

③食品添加物の安全性

食品添加物のJECFAによる安全性評価  
既存添加物の安全性評価、食品添加物一日摂取量調査 等

④外国の食品添加物

FDA 21CFR（和訳） 等

⑤食品添加物の表示（消費者庁へのリンク）

(2) 残留農薬関係情報

①残留農薬ポジティブリスト制度（和、英）

基準値一覧表、食品分類表 等

②食品中の残留農薬検査結果、畜産食品の残留物質モニタリング検査結果

(3) 「食品中の化学物質」「容器・包装」関係資料

(4) 研究助成成果報告

公益財団法人日本食品化学研究振興財団研究成果報告（和、英）

(5) 厚生労働省食品化学情報

(6) 食品安全委員会情報

## 平成29年度主要事業記録

年月日	主要事業記録
平成29年4月19日	第26回定時理事会（於：三栄源エフ・エフ・アイ株式会社本社） ・平成28年度事業報告及び決算報告の承認に関する件 ・代表理事職務執行状況の報告、他
平成29年5月22日	第24回研究助成金贈呈式（於：リーガロイヤルホテル）
平成29年5月26日	第8回定時評議員会（於：三栄源エフ・エフ・アイ株式会社本社） ・平成28年度事業報告及び決算報告の承認に関する件 ・任期満了に伴う役員を選任に関する件、他
平成29年5月26日	第27回臨時理事会（於：三栄源エフ・エフ・アイ株式会社本社） ・代表理事の選任
平成29年7月1日	平成29年度（後期）シンポジウム開催等助成申請の受付（7月中）
平成29年8月29日	第28回臨時理事会（書面表決） ・役員（専務理事）の退任・新任に関する件
平成29年8月31日	第15回選考委員会（書面表決） ・平成29年度（後期）シンポジウム開催等助成対象の選出に関する件、他
平成29年9月8日	第9回臨時評議員会（書面表決） ・役員（専務理事）の選任に関する件
平成29年9月15日	平成30年度奨学助成申請の受付（10月31日まで）
平成29年9月21日	第29回臨時理事会（書面表決） ・代表理事（専務理事）の選任及び選考委員の選任に関する件 ・平成29年度（後期）シンポジウム開催等助成対象の決定に関する件
平成29年11月15日	平成30年度研究助成及び前期シンポジウム開催等助成申請の受付 （平成30年1月15日まで）
平成29年12月6日	民間企業から、メタ石炭酸及びクエン酸三マグネシウムに係る新規指定要請に向けた調査研究を受託
平成29年12月13日	第16回選考委員会（於：三栄源エフ・エフ・アイ株式会社本社） ・平成30年度奨学助成対象の選出に関する件、他
平成29年12月15日	第23回研究成果報告書刊行
平成29年12月26日	第30回臨時理事会（書面表決） ・平成30年度奨学助成対象の決定に関する件、他
平成30年3月2日	第17回選考委員会（於：三栄源エフ・エフ・アイ株式会社本社） ・平成30年度研究助成対象及び（前期）シンポジウム開催等助成対象の選出に関する件、他
平成30年3月9日	第31回定時理事会（於：三栄源エフ・エフ・アイ株式会社本社） ・平成30年度事業計画及び収支予算の承認に関する件 ・平成30年度研究助成対象及び（前期）シンポジウム開催等助成対象の決定に関する件 ・代表理事職務執行状況の報告、選考委員の選任、他

## 組 織

## 1 役員

理事長	清水 孝重	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 会長兼社長
専務理事	入村 和子	公益財団法人 日本食品化学研究振興財団
理事	安達 修二	京都学園大学 バイオ環境学部 食農学科 教授
〃	一色 賢司	一般財団法人 日本食品分析センター 学術顧問
〃	井上 健夫	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 取締役常務執行役員
〃	神崎 浩	岡山大学理事 (副学長)
〃	黒川 達夫	日本OTC医薬品協会 理事長
〃	小林 資正	大阪大学 名誉教授
〃	清水 康弘	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 副社長
〃	清水 玲子	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 取締役
〃	下村 講一郎	東洋大学大学院生命科学研究科 特任教授
〃	伏木 亨	龍谷大学農学部 教授
監事	尾川 雅清	シリウス法律事務所 弁護士
〃	築地 雅樹	築地公認会計士事務所 公認会計士

## 2 評議員

〃	浅井 以和夫	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 取締役執行役員
〃	久保田紀久枝	東京農業大学総合研究所 教授
〃	中江 大	東京農業大学応用生物科学部 教授
〃	中垣 俊郎	京都府立医科大学大学院医学研究科 教授
〃	船見 孝博	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 執行役員
〃	松浦 壽喜	武庫川女子大学生生活環境学部 教授
〃	山崎 裕康	神戸学院大学薬学部 教授
〃	山元 弘	大阪大学 名誉教授

## 3 選考委員

〃	伊藤 美千穂	京都大学大学院薬学研究科 准教授
〃	井部 明広	実践女子大学生生活科学部 教授
〃	今井田 克己	香川大学医学部 教授
〃	梅村 隆志	ヤマザキ学園大学動物看護学部 教授
〃	小関 良宏	東京農工大学大学院工学研究院生命機能科学部門 教授
〃	合田 幸広	国立医薬品食品衛生研究所 薬品部長
〃	小林 資正	大阪大学 名誉教授
〃	清水 誠	東京農業大学応用生物科学部 教授
〃	関野 秀人	厚生労働省医薬・生活衛生局食品基準審査課長
〃	山元 弘	大阪大学 名誉教授

## 4 事務局

〃	田邊 伸也	事務局長
東京分室	中村 明淑	
〃	高山 昌也	顧問
〃	鶴狩 真理子	